

マリンスポーツ体験

→ドラゴンボートを楽しむ生徒たち



←リスザルとの触れ合い

マリンスポーツでは、ドラゴンボートやシュノーケルなどのアクティビティをホテルのビーチで行った。神戸も港町と言われるが普段は山に囲まれた学校生活なので、海の美しさに感動している生徒もいた。非常に天気がいい日が続き、海は写真でしか見たことが無いほどの透明感だった。

シュノーケルでは最初は怖がっている人も多かったが、慣れてくるとみんな楽しんでた。ドラゴンボートは急にスピードが上がったりして、生徒たちは盛り上がっていた。

やいま村観光では古きよき沖縄の街並みを感じることが出来た。小さくかわいいリスザルに生徒たちは夢中になっていた。

黒島ウミガメ研究所

2日目に訪れた黒島ウミガメ研究所では、なかなか間近で見ることが出来ない海の生き物たちと触れ合うことが出来た。最初は研究員の人による海の生き物の説明を受けた。その後ウミガメの赤ちゃんを抱っこしたり、サメに餌をやったりと貴重な体験をたくさんした。午後からは沖縄の伝統的な指ハブを作ったり、ぜんざいを食べたりして楽しんだ。指ハブとは噛み付き蛇のハブをモチーフにした指にはめて抜けなくなるおもちゃ。研究所で育てていたウミガメを海に返す光景はとても感動的であった。



←ウミガメが海に帰る様子を見守る



→ウミガメと一緒に記念写真

石垣焼体験

石垣焼制作中→



←干して乾かしている生徒の藍染作品

3日目に訪れた石垣焼体験では石垣島の伝統的な焼き物を作る体験をした。外枠は丸や四角などの一般的なものに加えてマンタなどの沖縄らしい型もあった。粘土に空気が入らないように、こねずに叩かなくてはいけないためとても難しかった。

午後からは藍染体験をした。結び方や結ぶ位置で完成に柄が全く変わる。乾かしている様子は多種多様な染物が並び、美しかった。

南の島で忘れられない思い出作り
暑さを忘れて全力で楽しむ

竹富島散策



↑竹富島散策でお店を巡る生徒

→鍾乳洞の写真を撮っている様子



修学旅行2、3日目は生徒たち自身が選択した選択別体験学習だった。選択肢はマリンスポーツ、西表島カヌー、竹富島散策、黒島ウミガメ研究所、石垣焼体験だった。どの選択肢も沖縄を感じられるものばかりでそれぞれが修学旅行を満喫していた。

2面では、それぞれの体験の様子と写真を掲載する。

竹富島散策はバスと徒歩、自転車で観光を行った。竹富島の雰囲気は静かで落ち着いており、のんびりとした時間の流れだった。琉球建築の建物が多く、伝統的な街並みの雰囲気を感じる事が出来た。

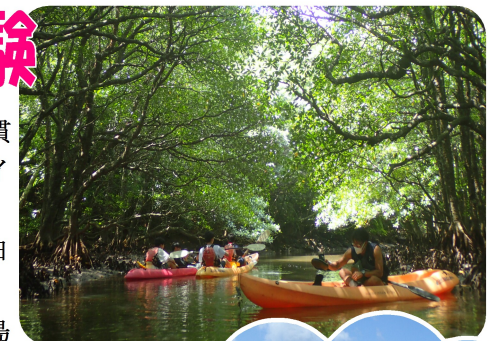
カイジ浜では星の砂を採取した。ガイドさんにコツを教えてもらい夢中になって探した。天気が良く、気温が高かったので、島の真ん中あたりに位置するアイス屋に寄っている人が多かった。

また、石垣島鍾乳洞にも訪れた。たくさんの鍾乳洞に囲まれて自然の美しさだけでなく、イルミネーションや水の音により、幻想的な空間を体験した。帰る頃には暑さでクタクタになっている生徒が多かった。

西表島カヌー体験

カヌー体験が初めての生徒も多く、慣れない操縦に戸惑う様子も見えたが、インストラクターに優しく教えてもらい、全員が楽しんで行うことが出来た。翌日には腕が筋肉痛になっている人もいた。

カヌーの後には水牛車に乗って由布島に行った。牛車で案内して下さった御者さんによる三味線の演奏のおかげでより沖縄を感じながら風景を楽しむことが出来た。牛と触れ合ったり、ジェラートを食べたりして、自由時間を満喫した。



←木々の間を巡るカヌー体験



(上) マングローブの森に向かう男子生徒
(左) 由布島に向かう水牛